

ご参加宜しく願います。

◆学生会… (㊦ 森田直晃委員)

・学生会総会 ご参加有難うございました  
・「春の学生おちばがえり」 3/28 開催  
詳細は後日連絡させていただきます。

◆広報庶務部・書籍… (㊦ 山口正洋委員)

・ふれあい折り込み1月は6組です。よろしく  
お願いいたします。

◆時報手配り… (㊦ 澤田常和委員)

・12月手配りは8・15日拠点教会到着となります。  
す。お間違いないようお願いいたします。

来年は1月12日拠点教会到着分より手配り  
開始となります。

◆少年会… (㊦ 小田木智嗣委員)

少年会静岡教区団総会 3/29  
受付10時30分 開始11時



教祖百四十年祭

◇12月定例支部活動

◆合唱団アヴァンティ練習日

とき 12月 日・日

会場 鴨江アートセンター (206号)

◆あらみち会… (㊦ 森田直晃委員)

日時 22日(金) 9時15分~12時

会場 袖ヶ浦分教会

講話 山本 明久先生

皆様お誘い合わせの上ぜひご参加を!

◇定例委員会・例会

◆運営委員会… 年頭会議

とき 1月6日(土) 9時30分

◆青年会献血… ミニユーズ

とき 12月18日(月) 10時

◆婦人会… 遠州分

とき 12月19日(火) 10時

駅送迎レイン 9時30分発

◇1月 年頭会議

とき 1月6日(土)

会場 中富分教会

当番委員 小楠友一先生

三代真柱様お言葉

「教会内容の充実」冊子持参下さい

◇各組活動

【1組】… 組長 鈴木 豊司(濱 東)

〈配本・集金〉 12月28日(木) 濱 東

〈合同会議〉 1月6日(土) 14時 濱 東

〈ひのきしん〉 月 日(日) 6時00分 休会

【2組】… 組長 渡邊英一郎(濱 松)

〈配本・集金〉 1月6日(土) 支部例会後

【3組】… 組長 長田 虎夫(濱 都)

〈会長会議〉 12月29日(金) 10時以降

配本集金のみ 濱 都

〈班長会議〉 月 日( ) 時 分 休会

〈ひのきしん〉 日時未定 曳 馬

【4組】… 組長 谷口 和幸(四日市浜)

〈合同会議〉 1月9日(火) 9時30分 四日市浜

【5組】… 組長 古山 慶仁(濱 宿)

〈会長会議〉 12月28日(木) 9時30分 濱 宿

【6組】… 組長 宮本 善成(長 上)

〈合同会議〉 1月9日(火) 19時 東濱名分

【7組】… 組長 太田 貴之(濱 名)

〈組例会〉 1月9日(火) 10時 篠 原

ふれあい

2023年 12月号 No.472  
会部とよも 支遠西

にんげんをはじめとしたるこのとやハ  
そんめをでいるこれがまことヤ  
第八号—37

旬の味わい

地方委員

小楠 友一



最高気温の更新のニュース  
がまるで嘘のように、11月  
入って肌寒くなりました。こ  
れから冬野菜が甘みを増して、  
お鍋の美味しい季節になりま  
すね。

先の大祭を終えたおちばの  
帰り道、キュウリのぬか漬け  
を見つけたのでお土産に買い、  
さっそく食べてみたところ何  
だか味がない、やはり時季  
外れでは、いくら美味しそう  
に見えても旬を過ぎると、旨  
味に欠けるなど感じました。  
冬野菜といえば、私の子供

の頃には近所に住む信者さん方  
は、農業に専従されている方が  
とても多かったのです、この時期  
から年末にかけて大量の大根や  
ホウレン草、白菜などをお供え  
して下さいました。尊い冬の味  
覚のお供え物だったのですが、  
やはり時期的に来る時には皆さ  
んが申し合わせたかのように  
持って来て下さるので、子供の  
頃は毎日ちやぶ台に上がる大根  
やホウレン草のオカズに正直閉  
口したものでした。申し訳ない  
話ですが、子供の私には野菜よ  
り肉、肉、肉！が欲しかったの  
です。

たしかに寒い冬こそ美味しく  
なる野菜とはいえ、あまりにも  
量が多いとそればかりが目につ  
いてしまうし、だからと言って  
旬を外せば旨みに欠けてしまっ  
な。などと考えていたところ、  
急に三年千日という言葉が、大  
根、白菜、ホウレン草に重なっ  
て頭をよぎりました。

不思議と三年千日には身上事  
情の話が増えてくるなど。野菜  
の種のように、年祭までの日々  
の歩みの中で蒔いてきたもの  
が、一斉に形となって成って現  
れてくる時期なんだな。あっ  
ちもか、こっちもか、またこん  
な話かと。「身上事情は道の花」  
といわれるものが、たくさん収  
穫できる旬が三年千日なのだ  
と改めて思い返しました。

この神様からの賜り物には  
様々な形や大きさがあつて、深  
い親神様の想いが詰まってい  
て、その一つ一つに旬だからこ  
そ味わえる旨味がたっぷり込  
められていて、心と体で味わう  
喜びがあるのだと思います。

年祭活動の一年目として歩み  
を進める中に、先日にぎやかに  
開催された西遠支部「ようぼく  
一斉活動日」も、せっかく本  
部で用意してくれたこの旬の味  
わいと捉えるなら、これも支部  
のちやぶ台に乗せて皆さんと共  
に、この先の「ようぼく一斉活  
動日」も楽しみたいと思ってい  
ます。

年末に向けて大祭の神殿講話  
のお言葉にあつたように、教  
祖の御心に溶け込んでボチボチ  
と、年祭の活動を進ませて頂き  
たいと思います。

だがこの論争も、19世紀の科学の進歩の前に、終止符が打たれました。

まず、レディーという人が、初めて対照実験を行いました。すなわち、動物の腐った肉を入れたガラス容器を2つ準備しました。

1つは、蓋をせずに開いたままにしました。もう1つの方は、ハエの卵が通過しない、細かい編み目の布で厳重に蓋をしました。

両方の瓶に、ハエが寄って来ました。蓋のない方の腐った肉には、ウジ虫が湧き、ハエになって飛んで行きました。蓋のある方には、いつまで経っても、ウジ虫は湧いて来ませんでした。

この実験によって、ウジ虫は、神様が勝手にお造りになるのではない、実は、ハエが卵を運んで来るからなのだ。生物が育つには、親が必要なのだということを示唆したのでした。

その後、なお論争がありました。自然発生説が間違っていることを決定づけたのは、1860年パスツールが数年がかりで行った実験でした。

彼は、首の長いフラスコの中に、ビール酵母液、砂糖、硫黄、胡椒などを入れ、培養液を作りました。

そしてバーナーで首の部分、いろいろな

形に引き伸ばしました。このようなフラスコを数分間沸騰させて、滅菌したのち、部屋にそのまま長期開放しておきました。いつまで経っても、培養液に細菌は生えてきませんでした。

しかし、首の部分を取り離しますと、培養液は細菌が生えて、濁って来ました。さらに詳しく観察しますと、首を引き伸ばしたフラスコも、細長くした首の入り口に近いところでは、細菌が生えていることも分かりました。

すなわち細菌は、神様が勝手に造ったのではなく、空気と一緒にやってきたことが分かったのです。生物はまさに、親と共にやってきたのです。

進化論で有名なダーウィンは、名著『種の起源』の冒頭に、次のように書きました。「私のかつて抱いていた見解、すなわち、それぞれの種は、別々に神により創造されたという見解は、誤りであることを、私は疑うことができない」

すなわち、種が別々に創造されたのではなく、一つの原始生物から、突然変異と自然淘汰により進化してきたことを明らかにしたの

です。こうして、生命の自然発生説は力を失いました。

そこで、それに代わる考え方として、生命は地球の外から、隕石に乗ってやってきたという説があります。生命宇宙起源説とも呼ばれているのです。ごく最近でも、『生命は彗星からやってきた』という本を書いているイギリスの天体物理学者もいます。

この説は、よく考えますと、生命の起源の問題を、一つ先に延ばしただけのことです。地球外の星から来たとしても、その星では、どのようにして生物が生まれてきたのか？

卵が先か、ニワトリが先か？ 最初の親はどうして作られたのか？…。

この問題は、いつまでも追いかけてくるのです。観念論、あるいは生氣論といわれる立場の人たちの、生命の自然発生説は敗北しましたが、もう一つ、唯物論、機械論といわれる立場の人たちはどうだったのでしょうか。

この人たちは、生物と無機物の物質との根本的な差を否定する人々です。科学の進歩と共に、一時はとても力を得ました。【続く】

### 山本利雄先生 〈ラジオ講話〉

#### 「いのち」 - 4 卵が先か、ニワトリが先か - その2

（前回の続きから）  
だがこの論争も、19世紀の科学の進歩の前に、終止符が打たれました。  
まず、レディーという人が、初めて対照実験を行いました。すなわち、動物の腐った肉を入れたガラス容器を2つ準備しました。  
1つは、蓋をせずに開いたままにしました。もう1つの方は、ハエの卵が通過しない、細かい編み目の布で厳重に蓋をしました。  
両方の瓶に、ハエが寄って来ました。蓋のない方の腐った肉には、ウジ虫が湧き、ハエになって飛んで行きました。蓋のある方には、いつまで経っても、ウジ虫は湧いて来ませんでした。  
この実験によって、ウジ虫は、神様が勝手にお造りになるのではない、実は、ハエが卵を運んで来るからなのだ。生物が育つには、親が必要なのだということを示唆したのでした。  
その後、なお論争がありました。自然発生説が間違っていることを決定づけたのは、1860年パスツールが数年がかりで行った実験でした。  
彼は、首の長いフラスコの中に、ビール酵母液、砂糖、硫黄、胡椒などを入れ、培養液を作りました。  
そしてバーナーで首の部分、いろいろな

形に引き伸ばしました。このようなフラスコを数分間沸騰させて、滅菌したのち、部屋にそのまま長期開放しておきました。いつまで経っても、培養液に細菌は生えてきませんでした。  
しかし、首の部分を取り離しますと、培養液は細菌が生えて、濁って来ました。さらに詳しく観察しますと、首を引き伸ばしたフラスコも、細長くした首の入り口に近いところでは、細菌が生えていることも分かりました。  
すなわち細菌は、神様が勝手に造ったのではなく、空気と一緒にやってきたことが分かったのです。生物はまさに、親と共にやってきたのです。  
進化論で有名なダーウィンは、名著『種の起源』の冒頭に、次のように書きました。「私のかつて抱いていた見解、すなわち、それぞれの種は、別々に神により創造されたという見解は、誤りであることを、私は疑うことができない」  
すなわち、種が別々に創造されたのではなく、一つの原始生物から、突然変異と自然淘汰により進化してきたことを明らかにしたの

です。こうして、生命の自然発生説は力を失いました。  
そこで、それに代わる考え方として、生命は地球の外から、隕石に乗ってやってきたという説があります。生命宇宙起源説とも呼ばれているのです。ごく最近でも、『生命は彗星からやってきた』という本を書いているイギリスの天体物理学者もいます。  
この説は、よく考えますと、生命の起源の問題を、一つ先に延ばしただけのことです。地球外の星から来たとしても、その星では、どのようにして生物が生まれてきたのか？  
卵が先か、ニワトリが先か？ 最初の親はどうして作られたのか？…。  
この問題は、いつまでも追いかけてくるのです。観念論、あるいは生氣論といわれる立場の人たちの、生命の自然発生説は敗北しましたが、もう一つ、唯物論、機械論といわれる立場の人たちはどうだったのでしょうか。  
この人たちは、生物と無機物の物質との根本的な差を否定する人々です。科学の進歩と共に、一時はとても力を得ました。【続く】

## 支部だより

教 186年  
立 R5.12  
NO.578

### ◇表統領挨拶

・今年も残り1ヶ月。早いもので来年の相談を進めている時期になりました。年祭活動も三年千日のうち一年が過ぎ、残すところ3分2となり、残り時間も減っていきます。後からあれもこれもあつたとならないように、前もって思案をして計画的に日々を過ごすようにしていかなければならないと思います。

三年千日は集中してひながたを辿らせていただき、ひながたを正しく、そして抜けることなく通らせて頂かなければなりません。最近、真柱様から丹精ということを重ねてお仕込みいただいているところであり、そのことを実行するには、今が非常に大事な時期です。自分自身にとって、また教会にとつて年祭活動はどうなのか、普段と比べて何が違うのか、何か変わってきたのか、さらには自分の気持ちや行いについてしっかりと振り返って、残りの2年間に生かすことをご思案いただきたい。早めに振り返り練り上げて、来年は前年の歩みからこういう年になったと、いい意味で進んでいけるようになれば有難いと思えます。

「ようぼく一斉活動日」の一回目が終わり、色々な反省や良かった点もあったと思います。年祭活動においては、教会を中心に活動を進めさせていただく。その上で地域活動に必要なことや出来ることをどのように進めていくかを考えていただきたいと思います。活動の対象となるのは、これから天理教になる人が相手ではなく、ようぼくとして自覚のある方にまず声をかけていき、声かけは教会から掛けていくことにしていますが、もちろん横からの声かけも大事なことです。言葉に来てくださる方、ちよつと押せば来てくださる方にどのように成人していただくかを考えて進めてきました。第1回目を終え、2回目と3回目をどのようにするのか、各支部で頭を悩ませているところだと思います。根本的な姿勢は、最初からしらみつぶしにようぼくに当たるのではなく、ある程度の方に焦点を絞って、そこに新しい方が入ってきてくださることは多いに結構で、焦点を間違えないようにお願いいたします。

### ◇本部・教区事項

◆◆◆ひのきしんスクール◆◆◆  
・「不登校く子どもの事情を通して」  
開催日時：立教187年（令和6年）2月26日（月）～27日（火）  
会場：おやさとやかた東左第4棟3階

対象：ようぼく 定員：60名  
受講御供：2000円 締切日：2月15日  
◆支部事項  
◆布教部……………（㊟長田虎夫委員）  
・寒さ厳しくなってきましたが、年末ぎりぎりまで、たすけ一条に励ませていただきます。  
◆教務部……………（㊟吉岡弘和委員）  
年末調整をお願いします。書類の提出は1月支部例会にお願いします。  
◆書籍担当……………（㊟吉岡孝広委員）  
『陽気』が1月号から270円で販売させていただきます。よろしくお願いします。  
◆災害隊……………（㊟水野慎治委員）  
・教区訓練ご協力ありがとうございました。  
◆婦人会……………（㊟木船真澄委員）  
12月19日（火） 会場 遠州分 10時～  
お礼づとめをさせていただきます  
持物 ハッピー、扇、おふでさき  
駅送迎レイン9時30分発  
ハープの会 12月14日（木）13時～14時  
LINEミーティングで行います。  
◆女子青年 例会 12月は休会  
◆青年会・献血担当…（㊟杉本真俊委員）  
12/18 献血呼びかけひのきしん  
献血ルームミ्यूズ 10時 集合